

会 議 録

会 議 名	第20期小金井市公民館企画実行委員の会議 第16回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成21年12月1日(火) 午前9時30分～正午		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室C		
出 席 委 員	安部まり子委員、伊藤清委員、瀬上ゆき委員、妻木誠二委員、前川正治委員、松浦妙子委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	松本浩明主査、渡邊正志、山崎光昭		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告(10月27日開催)</p> <p>2 公民館研究大会について</p> <p>3 各講座の報告と計画 高齢者学級「けやき学級」、市民講座「映像でつづる昭和の歴史」、成人学校「旧東ドイツへの旅」・「滝めぐり」・(仮称)「自分を守る力、そして人を守る力を伝えたい」・(仮称)「坂の上の雲」・(仮称)「歴史と文学散策～鳩山会館・旧岩崎庭園・東京タワー・東京都庭園美術館」、子ども体験講座「ぬくい少年少女囲碁大会」</p> <p>4 その他 成人学校「リフレッシュ・ヨーガ」、平成22年度男女共同参画講座準備会</p> <p>次回の日程について 平成22年1月5日(火) 午前9時30分～</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（11月27日開催）

（1）東京都公民館研究大会企画委員会について

11月20日開催。参加者中間集約、341人。参加人数により各課題別集会の会場を決定。本番前の最後の企画委員会となり、それぞれ最終調整を行った。

（2）三者懇談会について

11月16日開催。公運審から5人、図書館協議会から6人、社会教育委員から6人出席。自己紹介ののち、それぞれ活動報告。図書館協議会は年3回開催、新しい図書館のあり方調査をコンサルタントに依頼、開館時間の拡大等課題あり。直営堅持の答申を出したが一部窓口業務を委託するとの方針が出される。社会教育委員の会議は年10回開催（来年度から年8回）。今後の三者懇談会は、三者合同会議に格上げし、事前にテーマを決め、議事録も録る。次回5月開催にあたり、テーマ案を持ち寄る。（テーマについては次回検討）

（3）都公連委員部会研修会及び運営委員会について

研修会を11月8日開催。【山田委員】公運審のあり方は市によってまちまち、有料化の動き、公民館のとらえ方なども市によって違うと感じた。【藤井委員】研修には企画実行委員が参加した方が効果的。企画実行委員と公運審の関係について聞かれたが答えられなかった。他市との違いを感じた。運営委員会を11月25日開催。【神島委員】初めて参加したが稲城は意外と近かった。これからの公運審のあり方等話題になった。次回は12月18日。

（4）公民館事業の報告

貫井南分館からの報告はなし。

（5）（仮称）貫井北地域センターについて

庁内検討委員会を2回開催。

(10/27) 市の方針決定の経過、複合施設の中身を公民館、図書館、中高生の居場所を基本とし、老人施設はこの地域に存在することから不要と判断。来年度、市民検討委員会を立ち上げる。メンバーは10人、学識1、町会自治会2、社会教育委員・図書館協議会・公運審から各1、公募3、残りの1は未定。

(11/25) 市民アンケートを市内2000人（無作為）に実施し、より多くの声を反映させる。基本設計をプロポーザル方式とする。（プロポーザル方式→複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること）ユニバーサルデザイン（障害者にも使い易い施設）を採用する。

（6）公民館事業の計画

貫井南分館からは、成人学校「リフレッシュ・ヨーガ」、国際交流イベント「新春のお茶会へのお誘い」を提出。質疑なし。本町分館の男女共同参画講座「ココ・チャンネル」について藤井

委員より質問。

大橋委員長→男女共同参画室に相談、市民団体に委託等検討を。

(7) 平成22年度公民館予算について

ITサポート事業は週2回(4時間)では稼働率が悪すぎる。

事業枠が旧態依然で前年踏襲のまま。今日的に見合った形に再検討を。

事業枠を取り払い、使い易い形に再編成を。

予算書を事業仕分けし、公運審で全面的に作り直すことを試みてはどうか。

月刊こうみんかんは作り方から再検討を。自前印刷で工夫している市も多い。

ホームページの充実を。ITサポート事業予算を減らし、情報発信へ振替えを。

IT関係のキャリアアップなど再就職にも役立つ事業を。

男女共同参画講座は担当課(男女共同参画室)へ移管するべき。

企画実行委員だけが市民参加ではない。多くの市民団体といっしょに事業実施を。

(8) その他

12月15日(火)午前10時～正午、東京都公民館研究大会の報告会を開催予定。参加しての感想、大会全体テーマと各課題別集会の係わり等、意見交換。

12月は開催せず、次回、第4回審議会は、1月22日(金)午後1時30分～3時 本館にて。

2 公民館研究大会について

貫井南分館が担当する第3課題別集会の会場は、本庁舎3階の第一会議室となる。会場設営は、大会前日の12月12日(土)午後2時から行う。機材はアンプのみ。横断幕、式次第(タイムテーブル)、立て看板4枚(1階入り口、階段1階と3階、会議室前)を用意する。当日の昼食は助言者、事例報告者と企画委員で打合せ等行うため、一緒にとる。助言者、小平市・小金井市の事例報告者に伝えておく。小金井市の事例報告者へは、85部印刷する必要から配布する資料の確認をしておく。小平市の事例報告者へも連絡し、小平市の公民館で印刷してもらうこととする。当日、助言者、事例報告者へはお茶(ペットボトル)を用意する。ゴミは原則各自持ち帰りとするが、別途、ゴミ袋は用意しておく。

3 各講座の報告と計画

○高齢者学級「けやき学級」

第23回として11月25日(水)に閉校式を行い、平成21年度のけやき学級は終了した。閉校式では、各班が選んだ講座ベスト3を発表してもらい、皆勤者、精勤者の発表、企画実行委員(妻木)と職員(松本)による出し物(ハーモニカ、ギターと歌)を披露した。かなり盛大のうちに終わることができた。平成22年度の準備会は、2月3日(水)学習室Cで行い、市報1月15日号でお知らせする。

○成人学校「旧東ドイツへの旅」

11月7日(土)から全3回の講座は大盛況であった。予想を上回る受講者で、集計はまだ

であるが1日平均40人位であった。講師のラースさんもジョークを交えながら受講生には盛況であった。

○市民講座「映像でつづる昭和の歴史」

10月16日から5回。応募人数30人で受講者は29人（男性22人、女性7人）、延べ受講者は92人であった。平均年齢は、男性62.2歳、女性は69.9歳。11月20日の最終日に来年度もこの講座を開催する予定であることを伝えたところ拍手が起こった。但し、受講生からは、開催時期と時間帯の変更の要望があり要検討である。

○成人学校「滝めぐり」

11月24日（火）に実踏へ、講師、企画実行委員（前川、安部）、職員（松本、山崎）で実施した。今回のコースは3つのコースから一番楽なものを選んだが、多少険しい箇所があり心配なところもあるが、所々でフォローすればと思う。既に抽選を行い20人が決定し、パンフレットは送付済みである。20人中6人が男性である。昼食は、トイレを考慮しトイレのある箇所で午後1時位となる。雨天の場合は、払沢の滝に変更とする。20人で歩くため、個々の歩くペースが違っているため列の前後と中間に人を配置して、連絡を取り合う必要がある。また、分岐のところには誰かいるようにする。

○成人学校（仮称）「自分を守る力、そして人を守る力を伝えていきたい」

元々、3回を別の内容で考えていたが、講師からの依頼で1回に変更し、小金井消防署長の経験から話してもらうこととした。この日は、午前中に貫井南センターで地域の自治会、老人会と共に防災訓練を行うことから、良い機会と捉えて午後1時から3時として開催する。

○成人学校（仮称）「坂の上の雲」

前述の1回への変更から、2回分を3月10日（水）、17日（水）に行う予定である。今、NHKでシリーズ放映していることから良い機会と捉えたもの。講師には、東京学芸大学名誉教授の山田有策さん。

○子ども体験講座「ぬくい少年少女囲碁大会」

9月12日から練習を行い、11月28日（土）に12人の参加者で大会を行った。次回は、インフルエンザの関係から3月7日（日）に大会のみで行う予定である。

○成人学校（仮称）「歴史と文学散策～鳩山会館・旧岩崎庭園・東京タワー・東京都庭園美術館」

今回は、内容として文学が弱いことから蘆花公園を入れるようにする。実踏は2月23日（火）とする。

4 その他

○成人学校「リフレッシュ・ヨーガ」

チラシのイラストが、瞑想しているポーズとなっているが、実際はもっとアクティブな動きをするので変更する必要がある。

○平成22年度の男女共同参画講座

準備会を2月頃に行いたい。その際に、男女共同参画室から職員を招いてモデルケースを作ってもらいたい。